

草の根・人間の安全保障無償資金協力

令和3年度「バラカ県ウロングウェ・ヘルスセンター建設計画」
起工式

2021年12月16日



(左) 定礎を行う池田次席

(右) マンゴチ県カダンマンジャ知事 (左)、池田次席 (中央)、チンガレ副司教 (右)



スピーチを行う池田次席 (左) とフランク・チンガレ副司教 (右)



スピーチを行うウロングウェ・ヘルスセンター代表メドリック・マキシモス・チャンブワニャ神父 (左) と踊りを披露するウロングウェ村青年グループ (右)

2021年12月16日、バラカ県ウロングウェ地区において、草の根・人間の安全保障無償資金協力「バラカ県ウロングウェ・ヘルスセンター外来病棟建設計画」の起工式が行われました。本プロジェクトでは、日本政府がウロングウェ・ヘルスセンターに対し供与した 91,624 米ドルを上限とする資金で、外来診療、検査、薬剤調合、予防接種、カウンセリングおよび短時間ステイなどが可能な総合外来病棟を建設します。これにより、近隣4地域の12万人の住民に対して総合的な医療サービスが提供されるようになります。

ウロングウェ・ヘルスセンターは1970年に建設された施設で老朽化が進むとともに、周辺地域の人口増加も相まって十分な医療サービスが提供できない状況でした。

式典で、池田次席は、本プロジェクトの実施で、同ヘルスセンターが中心となり医療環境が改善されることにより地域全体の健康促進向上が期待されると述べました。